

果樹におけるJA 営農指導と普及指導活動との連携の新たな取り組み

果樹技術普及センター

5月21日（月）、JA 営農指導員と地域普及センター果樹担当普及指導員の指導力向上を目的に果樹担当合同研修を開催しました。

今回の内容は、ブドウ「シャインマスカット」の開花前後の管理指導目合わせ、管理方法については実習を行いました。ブドウ「べと病」に対する防除の徹底指導については、果樹技術普及部で作成した資料をもとに検討しました。

JA 営農指導員と普及活動との連携を目的に合同で研修会を開催する取り組みは、これまで何度か行われてきましたが、昨年までの反省から、今年は新たに、目合わせ会終了後に実習の時間を設けました。

新任者や異動後経験の浅い職員が気軽に質問出来るように配慮したもので、実習では質問や意見が出されました。

この合同研修会は、今後2回予定しています。



果樹担当合同研修風景



開花期管理の実演と実習風景

耕作放棄地の再生活用に向けた企業の農業参入支援をしています

総合技術普及センター

北杜市須玉町江草地区では、平成22年から北杜市と県が連携しながら、耕作放棄地の再生利用に取り組んでいます。総合技術普及センターでは、平成23年に大規模なヤマトイモの専作経営を目指して、この地区で営農を開始した農業生産法人（株）

ハーベジファーム（平成23年3月1日設立）への支援として、ヤマトイモの優良系統や施肥量等についての現地実証ほの設置、運営、土壌分析に基づいた土づくり等の栽培技術指導に取り組んできました。今後も関係機関と連携し、栽培面積の拡大や高品質生産を支援するとともに、ヤマトイモを活用した加工品等の開発に向けた事業導入など大規模経営の確立に向けて取り組んでいくこととしています。



ヤマトイモの機械定植様子



収穫間近の風景とヤマトイモ



試験研究機関で開発された高度な技術導入などの相談に応えます。

専門分野ごとにご相談を受ける普及指導員（農業革新支援専門員）を定め、高度な技術の迅速な普及に努めています。

総合農業技術センターでは、①生産工程管理 ②持続可能な農業・鳥獣害 ③担い手育成 ④水稲・普通畑作物 ⑤野菜 ⑥花き

果樹試験場では果樹、畜産試験場は畜産の相談をお受けしています。

山梨県普及センターだより

Yamanashi Agricultural Extension Service Information

●編集／発行 山梨県総合農業技術センター ●住所 甲斐市下今井1100 〒400-0105
●Tel.0551-28-2496 ●Fax.0551-28-4909
●URL.http://www.pref.yamanashi.jp/sounou-gjt/
●E-mail.sounou-gjt@pref.yamanashi.lg.jp

No.17

平成24年
6月21日発行

New 新規就農者集合研修を開催

総合技術普及センター

近年、県内の新規就農者は増加傾向にあり、平成21年には30年ぶりに100人を超え、平成22年には119人と増加、農業法人等への雇用就農者まで含めると185人となっています。

これまで、就農して間もない新規就農者を対象として地域普及センター毎に研修を行ってきておりますが、今年度からは、新たに県下全域の就農して間もない認定就農者等を対象に集合研修を開催することになりました。内容は、果樹と野菜の各コースに分かれた専門技術研修と、経営管理や様々な制度について学ぶ共通課題研修の3コースです。

そのうち、果樹コースが5月18日に果樹試験場において、野菜コースが6月12日に総合農業技術センターにおいてスタートしました。

果樹コースでは33名が主な病害虫や農薬の適正使用について、また、野菜コースでは17名がスイートコーンの栽培技術について普及指導員の説明を受けました。

共通課題研修は、10月からスタートする予定です。

この研修を通して、栽培技術や経営管理等のレベルアップを図ると共に、新規就農者同士のつながりをつくるきっかけになればと期待しています。



野菜コース・スイートコーンの栽培についての研修



果樹コース・果樹の主要病害虫についての講義